



開会のあいさつを述べる久野知英町長

提出された議案の一覧

議案番号	議案名
議案第48号	三好町個人情報保護条例
議案第49号	三好町情報公開・個人情報保護審査会条例
議案第50号	三好町まちづくり土地利用条例
議案第51号	三好町都市計画法第33条第3項の規定による技術的細目において定められた制限の強化に関する基準及び同条第4項の規定による建築物の敷地面積の最低限度の制限を定める条例
議案第52号	三好町情報公開条例の一部を改正する条例
議案第53号	三好町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
議案第54号	三好町特別土地保有税審議会条例を廃止する条例
議案第55号	平成15年度三好町一般会計補正予算(第2号)
議案第56号	平成15年度三好町下水道事業特別会計補正予算(第1号)
議案第57号	町道路線の認定について
議案第58号	豊田加茂広域市町村圏事務処理組合の構成市町村である稲武町の郡域の変更及び同組合の農業共済事業規模点数の算出基礎の変更並びに同組合規約の変更について
議案第59号	財産の取得について
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
認定第1号	平成14年度三好町一般会計歳入歳出決算認定について
認定第2号	平成14年度三好町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定第3号	平成14年度三好町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
認定第4号	平成14年度三好町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について
認定第5号	平成14年度三好町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について
認定第6号	平成14年度三好町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
認定第7号	平成14年度三好町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定第8号	平成14年度三好町病院事業会計決算認定について
同意第3号	教育委員会の委員の選任について
請願第4号	三好養護学校における教育条件の充実を求める意見書提出の請願(採択)
請願第5号	「医薬品の一般小売店における販売」に関する意見書の提出を求める請願(採択)
意見書第3号	義務教育費国庫負担制度の堅持と、学級規模の縮小を求める意見書(可決)
意見書第4号	医薬品の一般小売店における販売についての意見書(可決)
意見書第5号	障害児の教育条件の充実を求める意見書(可決)

平成15年第3回三好町議会定例会から

皆さまと

ともにまちづくりにまい進

町長あつりん

平成15年第3回三好町議会定例会が9月5日から19日までの15日間の会期で開かれ、提出された議案22件についてはいずれも原案どおり可決、同意、認定されました。また9日と10日に行われた一般質問には、15議員が登場。質問に対し、町長らが答弁しました。今回の広報では、久野知英町長の開会時のあいさつの抜粋、提出された議案、補正予算の内容について紹介します。

◆まずは単独でまちづくり

現在、地方行政が抱える重要課題の一つに市町村合併があります。去る8月20日には、田原町と赤羽根町の二町により、愛知県内では平成に入って初めての合併が実現し「田原市」が誕生しました。

三好町においても、昨年11月に発足した豊田市、東西加茂郡および稲武町で構成する「豊田加茂8市町村合併研究会」で市町村合併のあり方について、調査・研究を進めてきました。そして、8月5日に開催された、第6回研究会において、平成17年3月までに、8市町村で合併を目指すかどうかの結論を出すことにしていました。

そこで本町では、合併に関する方向性を決める、重要な判断材料とするために、6月の中旬から下旬にかけて、町内全世帯を対象に「合併に関するアンケート調査」を実施させていただきました。町民の皆さんのご協力に深く感謝を申し上げます。

「アンケートの結果」については、8月15日号の「広報みよし」とともに「合併あれこれ特集号」を配布。合併肯定派は19・2%、否定派は70・3%でした。その後、議会ならびに区長会の皆さんと十分な協議を行い「ア

ンケート調査の結果を尊重すべき」との意見をいただき、慎重に検討を重ねてきました。そして、8月5日の研究会において、「三好町は、豊田加茂8市町村法定合併協議会には参画せず、まずは単独で、第5次三好町総合計画に基づき『ゆとりと活気あるふれあいのまちづくり』に町民の皆さんとともに、まい進していきたい」と本町の姿勢を述べさせていただきました。

◆広域圏のきずなを大切に

しかしながら、町民の皆さんの生活圏、経済圏である、豊田加茂地域をはじめとする近隣市町村との連携や相互協力、相互理解は、まちづくりにとって、大変重要な要素であると認識しています。今年、豊田加茂広域市町村圏事務処理組合も設立30周年を迎えました。これまでの歴史の中で培われてきた「つながり」「きずな」をさらに一層大切にしながら、今後とも豊田加茂広域圏との協力関係を堅持していきたいと考えています。今回は単独でという結論となりましたが、将来の「ふるさと三好」を考えますと、市町村合併は今後も避けては通れない大きな課題です。こうした思いを肝に銘じ、さらに「住みよいまちづくり」にまい進していきますので、町民の皆さん

のご理解とご協力を心よりお願いいたします。

◆まちづくりは人づくり

さて、本町は単独でのまちづくりを進めていくことを決めたわけですが、ふるさと三好をさらに「魅力ある住みよいまち」とするためには、これからの三好を担う人づくりが重要であると考えています。そこで「まちづくりは人づくり」の理念のもと、0歳から100歳までのすべての年齢層を対象にした教育の指針となる「三好町教育基本計画」を策定しました。この計画は、教育分野の総合的な計画です。人としての土台づくりの時期である乳幼児からおおむね10歳ごろまでの幼年期に関することや学校教育に関することをはじめ「三好町生涯学習推進計画」を踏まえ「心ゆたかな個性と創造性が輝くまち」を目標としています。この計画に基づき、町民の皆さんとともに地方分権時代にふさわしい教育施策の推進を図っていきます。

◆Eポート交流会

「カヌーのまち三好」をアピールするための新たなカヌー振興の試みとして、7月19日に三好池を会場に「Eポート交流会」を開催しました。これは、水上スポーツの楽しさを体験することにも、地域住民の皆さんの交流と健康づくりを目的として初めて実施したものです。交流会には、各行政区やカヌークラブ、議員の皆さんによるチームなど、37チーム、370人の選手が出場。30レースが行われました。Eポートは誰でも気軽に楽しむこ

とができるため、小学校低学年の子どもから60歳代の人まで、幅広い年代の人たちの参加をいただき、交流を深めていただきました。当日は、選手や応援の家族の皆さんなども含めて、約1,000人もの人たちが集い、大変盛況に開催することができました。参加、協力をいただきました皆さんに、心よりお礼を申し上げます。

この交流会は、来年度以降も続けて開催したいと考えていますので、各行政区や学校、職場の仲間など、さらに多くの皆さんの参加をお願いいたします。

◆日頃の備えや訓練が重要

7月末に発生した宮城県北部連続地震は、最大で震度6強を記録し、多くの住宅が損壊。電気、ガス、水道などのライフラインにも大きな影響を与えました。阪神淡路大震災と同様、住み慣れた住宅を失い、仮設住宅へ移り住む人も多く、その被災の大きさはいまだ記

憶に新しいところです。

東海地方では、東海地震、東南海地震などの発生が懸念されています。三好町も昨年4月に地震防災対策強化地域に指定されました。今後、震災対策のさらなる充実、強化に努めていきたいと考えています。このため8月31日には、大規模地震の発生を想定し、防災訓練を実施。各行政区では、自主防災会主催により、また南中学校では、拠点訓練として自主防災会をはじめ、防災関係機関、ライフライン関係団体、ボランティア団体、住民の皆さんが参加し、まちぐるみで取り組んでいただきました。訓練の参加者は総勢2,800人余り。特に、今年では「非常持出袋」の持ち出し訓練も行いました。「自らの身は自らを守る」という防災の基本に立ち、非常持出袋に食料、飲料水、生活必需品などを入れておいて、万一の地震発生に備えていただきたいと思います。常日ごろの災害に対する備えや訓練は、大変重要であると考えています。

補正予算

一般会計	
歳入	歳出
補正額 24億8,446万2千円	補正額 24億8,446万2千円
◆分担金及び負担金 236万7千円	◆総務費 8,171万1千円
◆国庫支出金 3,240万円	◆民生費 3,298万9千円
◆県支出金 1億3,376万8千円	◆衛生費 673万2千円
◆繰越金 8億8,439万5千円	◆農林水産業費 1億9,807万2千円
◆諸収入 53万2千円	◆土木費 5億2,495万5千円
◆町債 14億3,100万円	◆消防費 1,804万8千円
	◆教育費 16億2,195万5千円
※補正額24億8,446万2千円を加えた一般会計の予算は、歳入・歳出ともに総額204億742万9千円になります。	